



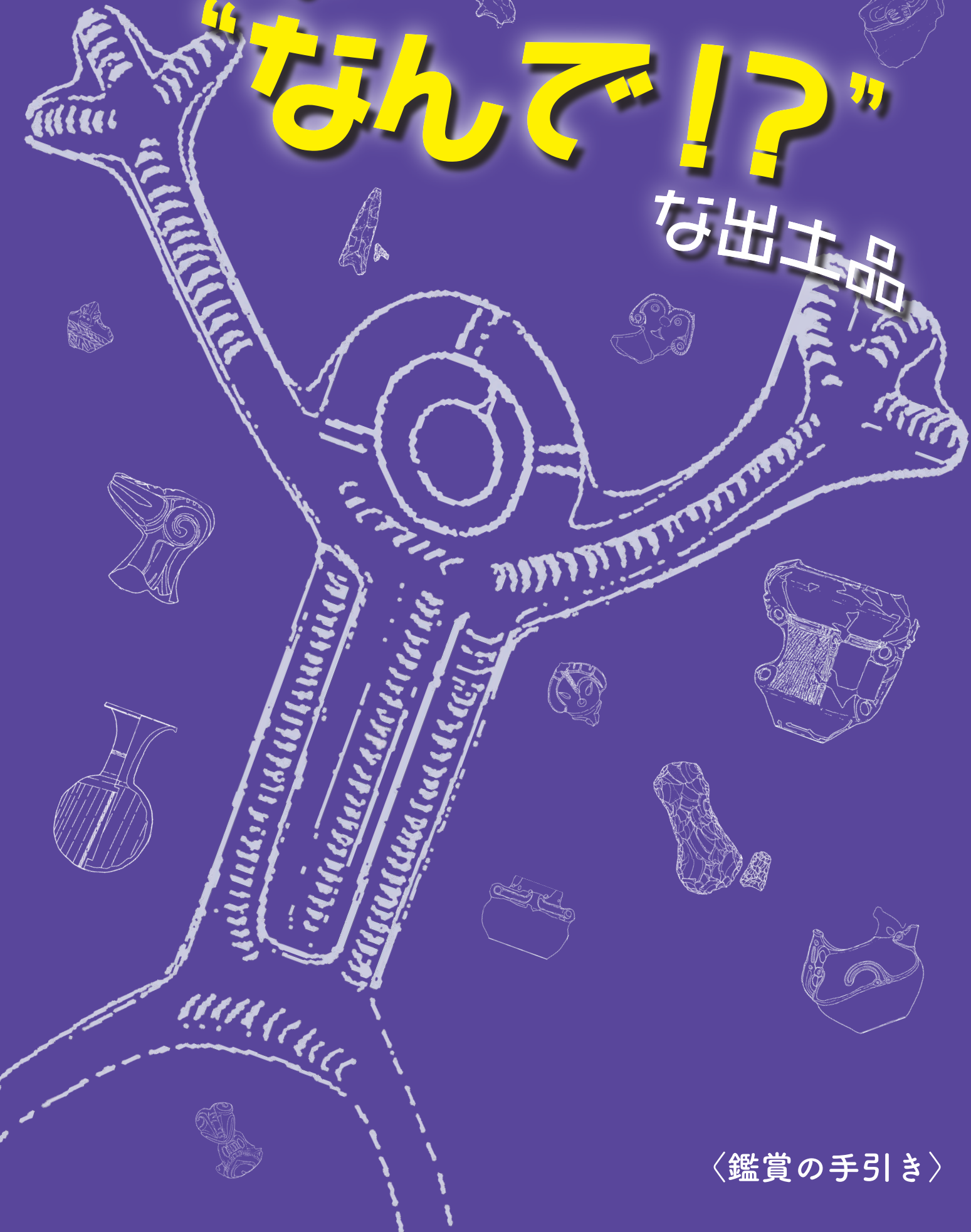
多摩の

東京都立埋蔵文化財調査センター令和6年度企画展示

"Why!?: "Strange" archaeological materials from Tama Hills

“なんで!?”

な出土品



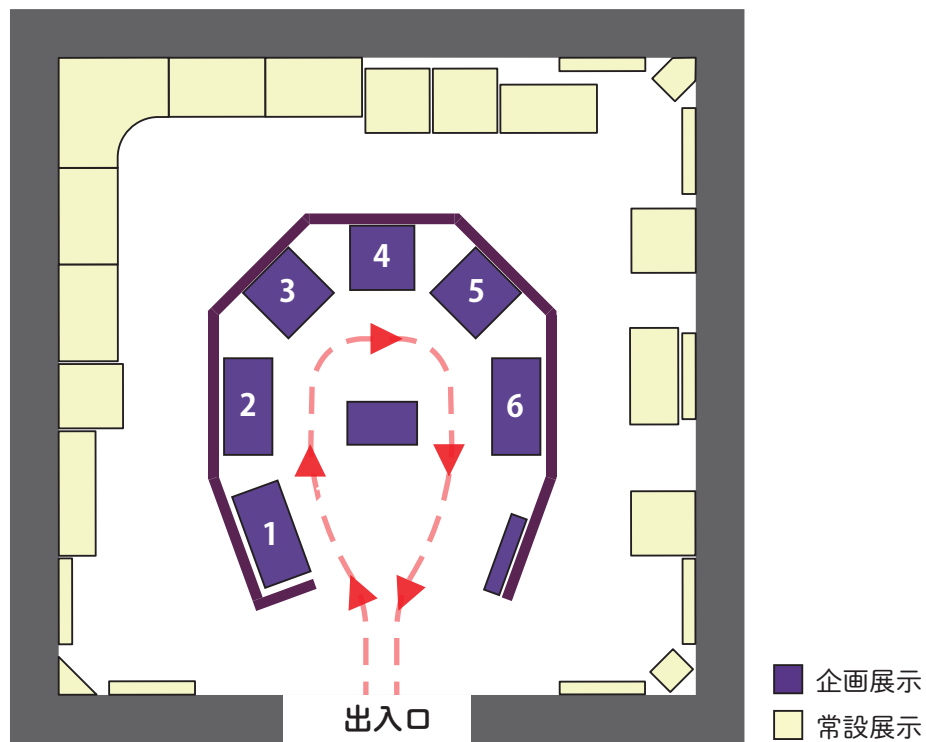
〈鑑賞の手引き〉

凡例

- ・ この冊子は、東京都立埋蔵文化財調査センター令和6年度企画展示『多摩の“なんで!?”な出土品』の鑑賞の手引きとして作成しました。
- ・ 遺跡 No. はすべて「多摩ニュータウン遺跡 No.」を指します。
- ・ この冊子で取り上げた遺物・写真資料は、東京都立埋蔵文化財調査センターに収蔵されています。
- ・ この企画展示は、東京都教育委員会の協力により開催しています。

目次

プロローグ	1
1. こんなに大きさが違うのはなんで!?	2
2. 土器の大小はなんで!?	4
3. 自力で立たないのはなんで!?	6
4. なんでか、似てるけど。	8
5. この「あな」なんで!?	10
6. いきものを表現するのはなんで!?	12
エピローグ	15
考えをシェアしよう!	15
展示目録	16



企画展示の順路

プロローグ

Prologue

普段の展示では調査でわかったことをご紹介していますが、わからないことも多く残されているのが考古学。見慣れた出土品も改めて見直してみると、いろいろな「**なんで!?**」が見つかります。そこで、今回はまだ答えの出ていない「**なんで!?**」にあえて焦点を当てます。

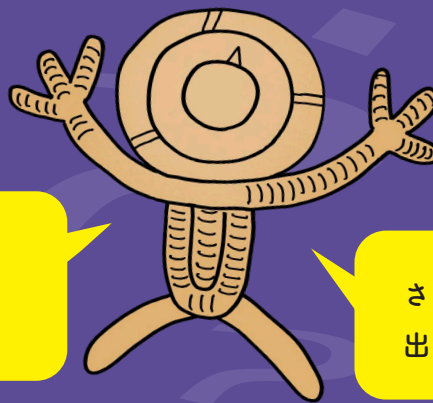
とはいえ、ここにあるのはすべて当時の人々が生活のなかで使っていた道具。私たちには「**なんで!?**」でも、当時の人たちには確かな理由があったはず。みなさんも自由な発想で「**なんで!?**」について考えてみませんか。もしかしたらみなさんの考えが難問を解く糸口になるかもしれません。

In our exhibits, we usually highlight discoveries uncovered through archaeological exploration. Yet, archaeology often leaves us with many unanswered questions. Even familiar artifacts can prompt a “Why!?” moment upon closer inspection. That’s why this exhibition takes a closer look into those unanswered “Whys?” deliberately.

However baffling these mysteries may seem, everything showcased here once served a purpose in ancient life. Our ancestors surely had solid reasons for using these artifacts, even if we can’t always understand them now. So, why not ponder these mysteries yourself? Your ideas might just hold the key to solving these puzzles.

こんにちは！
ボクはナンデくん！

多摩ニュータウンの遺跡から
「**なんで!?**」な声に
呼ばれて飛び出てきたよ。



さあ一緒に「**なんで!?**」な
出土品をめぐってみよう！

ナンデくん

年齢：約 5,000 歳

身長：約 20cm

体重：計量 不能

多摩丘陵出身。土の下で眠っている間に、縄文時代のことは忘れちゃった！約 50 年前に目覚めてからというもの、出土品の「**なんで!?**」に興味津々だよ。

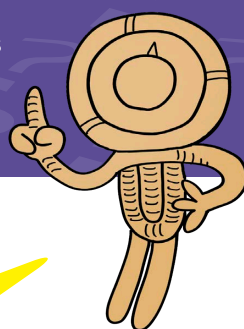
1. こんなに**大きさ**が違ちがうのはなんで!?

Why are they so big or small?

右ページに並んでいるのは縄文時代に使われていた4種類の石器。
それぞれ同じような形をしているにもかかわらず、大きいものと小さいものとの差は約10倍※にもなるものがあります。なんでこんなに大きさが違うものがあるのか、一緒に考えてみましょう。

※最大長を比較

Displayed here are four types of stone tools used in the Jomon period. Though they are similar to each other within their category, there exists a notable discrepancy in size among them. Why are some significantly larger while others notably smaller? That's still a puzzle.



大きすぎても、小さすぎても
使いにくそうなのに……なんで!?

実ははっきりとした答えは出てないけど、
考えるためのヒントはありそうだよ。



黒曜石

考え方のヒント

使い方の違い

例えば磨製石斧ませいせきふは木材加工のための道具とされていますが、大きいものは木の伐採のための斧、小さいものは細かな木材加工を行う鑿のみと、形は似ていても、そもそも別の道具だった可能性があります。

石器の貴重さ

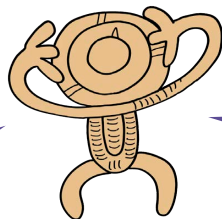
石匙いしさじと石鏃せきぞくで黒曜石こくようせきが用いられているのは、小さいものに限ります。
貴重な遠隔地石材である黒曜石を節約して使わざるを得なかった結果かもしれません。



関東周辺の黒曜石原産地

【文献1】のp.13 図6を元に作図

と、このようにいろいろと
考えることもできるけど、
全部は説明しきれない。



やっぱり、なんで!?

石器の使い道

そもそもこれらの石器はどのように使われていたのでしょうか？現在は以下のように考えられています。

せきぞく
石鏃 (1~3)
せんたん
矢じり (矢の先端部)

ませいせきふ
磨製石斧 (4~11)
ばっさい
木の伐採、加工具



いしきじ
石匙 (18~20)
ナイフ・動物の皮の加工具

だせいせきふ
打製石斧 (12~17)
ほ
土堀り具≡スコップ

石鏃と石匙

5cm

打製石斧と磨製石斧

10cm

あなたの考えは？

2. 土器の **大小** はなんで!?

Big and small: pottery this time.

土器にも大・小があります。まずご覧いただくのはとても小さい、
いわばミニチュア土器。こんな小さいものを作ったのは**なんで!?**

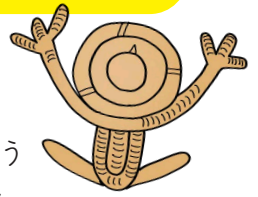
Indeed, for pottery, we have big ones and small ones, too. First, on display here are pretty small ones. Why did ancient people have to make these? Do you have any ideas?

何かを入れるには小さすぎるよね。
今の時代ならおもちゃかな。

みんなの身の回りには、
どんな小さいものがあるかな?

縄文時代のミニチュア

ここには小さいものを並べましたが、縄文時代のものは大きさ、文様、形も様々。
手乗りサイズに指先サイズ、作りが雑なものに丁寧なもの、一般的な土器を小さくしたよ
うな形に小さいものに特有の形…、それぞれの持っている意味・用途が違うのかもしれない。



大きいサイズにもある形

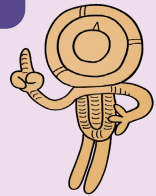


ふかばち
深鉢



こんな小さい土器にも、
きちんと文様がつけられているよ。

テキトーに作られた
わけじゃないようだね。



ちゅうこうどき
注口土器



ゆうこうつばつきどき
有孔罎付土器



ふつうサイズの
注口土器は p.9、
有孔罎付土器は p.10
に登場します。

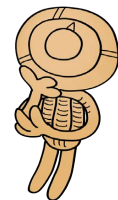
あさばち
浅鉢



小さいものに特有の形 (※多摩ニュータウン遺跡群内に限る)



通常の土器には
見られない不思議
な形だね。
なにがモデルに
なっているんだ
ろう?



古墳時代のミニチュア

古墳時代にも小さい土器があります。

形は様々ですが、縄文時代のように小さいものに特有の形や雑なものほとんどありません。

一般的な土器をそのまま小さくしたものばかりで、まさに「ミニチュア」です。

時代によっても意味・用途が変わるのかもしれませんが。



特大の土器

この縄文土器は、多摩ニュータウン遺跡の中でも最大クラスの大形深鉢。たいていの深鉢にみられる、調理のため火にかけた痕跡が見当たらないのも特徴です。この土器の使い道は「なに？」

あなたの考えは？



真ん中の土器(21)は上下で色が違うね。火にかけた痕跡のひとつだよ。



3. 自力で **立たない** のはなんで!?

Why can't they stand on their own?

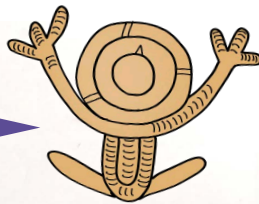
底が丸かったり、尖っていたり。それぞれ違う時代の土器たちですが、自分で「立たない」ことは共通しています。そのまま置いただけでは転がってしまう土器。わざわざ作られたのは、**なんで!?**

While these pottery are from different periods, they share one common trait. With rounded or pointed bottoms, they can't stand upright on their own. Why did ancient people bother to create such unstable pottery?

縄文 尖底土器

縄文時代早期以前に広く作られた土器です。立てて置くことはできないので、石で支えるなどなんらかの方法で固定したと考えられています。縄文時代でも後には平底の土器が一般的になるので、同じ縄文時代でもそれぞれの時期に応じて様々な事情があったようです。

下から火を受けた痕跡があるので、鍋として使っていたことが分かっているよ。



縄文時代早期の 尖底土器たち

2は常設展示の縄文時代早期のケースに、3・4は特別収蔵庫の縄文時代早期の棚に展示しています。

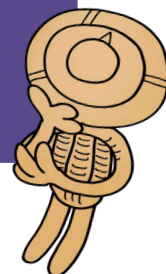


よこべ ちょうりいはい
横瓶・長頸瓶

古墳時代の後半頃を中心に作られた土器です。日用品というよりは、儀礼・祭祀のような特別な機会に使われたと考えられています。とはいっても容れものなのに、なぜわざわざ不安定な形に作ったのか？どうしても譲れないデザインだったのでしょうか？

そのままでは安定させられないなら、

どうすれば安定して置けるか考えてみるのも面白いかもね…？



あなたの考えは？

4. なんだか、似てるけど。

Two of a kind

どこかで見たような形に見えますが、どれも現代の道具とは全くちがう文脈で生まれたそっくりさん。なんの関係もない赤の他人です。

縄文人がこんな形に作ったのは、**なんで!?**

No matter how much these earthenware vessels resemble present-day utensils like beer mugs or teapots, they are, of course, entirely unrelated. Why did the Jomon people need to make pottery in such shapes?

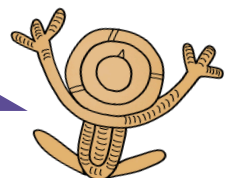
ビールジョッキみたい? (把手付深鉢) とってつきぶかばち

縄文土器は煮炊き用の鍋なべであることが多いのですが、これらの土器には大きな把手(?)が付いており、私たちの目には「ビールジョッキ」わたしのようにも映うつってしまいます。しかし、これは「持ち手」でしょうか? 縄文土器に、現代の感覚は通用しないかもしれません。

「ジョッキ」形の土器は、把手の他はよくある深鉢と同じ形をしています。現在のところ出土例も少なく、この把手に意味を見出すのはなかなか難しいところです。



立体的な文様の一部と考えることもできそう。



あなたの考えは?

ビールジョッキみたいな形はなんで!?

土瓶みたいな形はなんで!?(右ページ)



どじん 土瓶みたい？ (注口土器)

縄文時代後期には、下に掲載したような注ぎ口のついた土器が見つかることがあります。まるで土瓶みたい？しかし縄文時代に緑茶はありません。とても丁寧に作られていますが、いったい何を入れていたのでしょうか。



5 (再掲)



注口部を正面から見た写真

注口土器の特徴

特徴1. 注ぎ口の上とその対面には、持ち手をつけるのにちょうどよさそうな把手が付いています。しかし、植物などの腐りやすい素材で作っていた場合は現代まで残らないため、確かな証拠はありません。

特徴2. 内外面は丁寧に磨かれ、赤く彩色された痕跡が残るものもあります。

特徴3. 注ぎ口はどれもちゃんと内側に貫通しています。液体を注ぐのに使われたのは確かなようです。

お酒を入れたと考える人もいるけど、確かな証拠はないんだ。



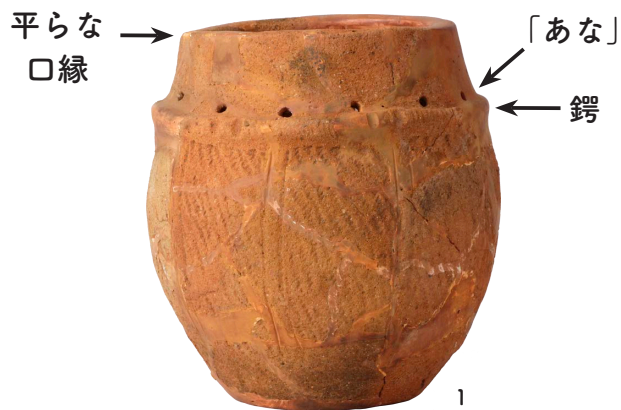
縄文時代にありそうな液体っていうと、水、お湯、果実酒、薬、シロップ、だし汁…とか!?

5. この「あな」なんで!?

What are these holes for?

平らな^{こうえんぶ}口縁部に、なぜか横一列の「あな」があり、多くの場合は^{つば}鑿がめぐっています。この土器を「有孔鑿付土器」と呼びます。内面が^{みか}磨かれているのも特徴で、お酒づくり説、太鼓説……さまざまな説がありますが、未だ決着がついていません。この「あな」、**なんで!?**

Perforated all around the mouth rim. Some suggest the perforation was for venting gas during liquor production, while others propose it was used to attach a leather sheet for drumming purposes, but the matter remains unsettled. What do you think?

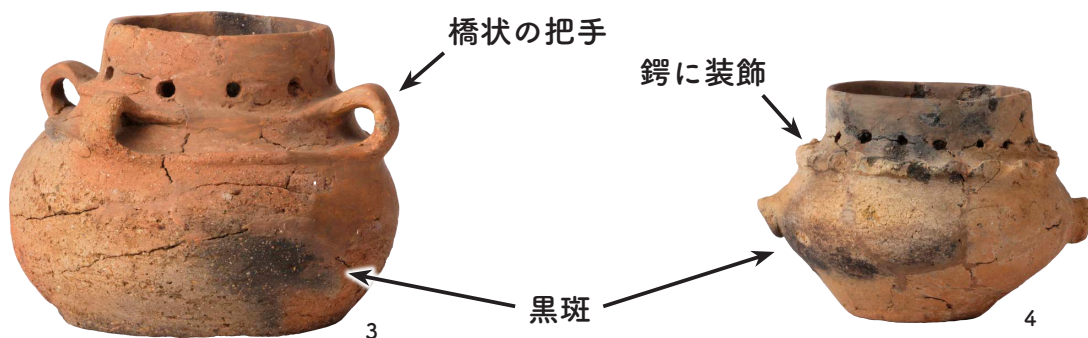


有孔鑿付土器の特徴

特徴1. 「あな」や鑿の位置は時期によって変化しますが、平らな口縁はずっと変わらない特徴です。なにか理由がありそうですが…。



特徴2. このような立派な文様のものは、多摩ニュータウン遺跡ではあまり出土していませんが、長野県や山梨県ではよく出土しています。



特徴3. 鑿^かの代わりに橋状の把手のついたものや、鑿に装飾^{そうしよく}のあるものも。しかし、鑿の用途については未だによく分かっていません。

特徴4. 土器製作時の野焼きでついたと考えられる黒斑^{こくはん}はありますが、その後、火にかけられた痕跡が認められるものはほとんどありません。



5



6



罫に空いている「あな」

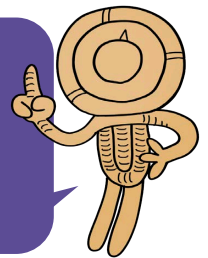
特徴5. この土器は左ページに掲載した土器よりも古い段階のもので、底は丸く、罫はありません。

特徴6. この土器は左ページに掲載した土器よりも新しい時期のもので、この頃には「あな」は内側に貫通せず、罫にあくようになります。

決め手を欠く諸説

主に長野県域で見つかった資料をもとにうまれた諸説と、その反論の一部を紹介します。みなさんもぜひ「なんで!？」に挑戦してみてください。

今のところ、利用方法が明らかな出土状況や痕跡が見つからないから、これ以上追求できずにいるんだね。



		長野県域を中心とした研究でうまれた説			
		貯蔵容器説	お酒づくり説	太鼓説	カエル副葬供献説
土器の特徴	横一列の「あな」	竹で編んだ蓋をくくりつけるため(実験ではうまくいかず)	醗酵の際のガス抜きまたは蓋をくくりつけるため	皮を張って栓をとめるため	土器の内側に、魚釣りを使うビクのように網を取り付けるため
	罫	補強のため	補強のため	補強のため	浅い筒状の蓋をかぶせるため
	口縁が平らで直立	蓋をして密閉するため	蓋をして密閉するため	皮を張るため	浅い筒状の蓋をかぶせるため
	磨き上げ、彩色されたものも多い	外からの湿気を防ぐため	水漏れ予防のため	?	水を張るため(オタマジャクシからカエルになるまで飼育する)
出土状況から	?	炉の近くで見つかる例がある(保温のため?)	?	前段階の、罫のない有孔浅鉢は、墓に逆さまに供献される	
その他	この土器が出現する縄文時代中期は農耕が始まっていた可能性があり、貯蔵容器は必要	内部からヤマブドウの種が出土した例がある 酒造実験に成功している	世界各地に土製太鼓が実在する太鼓の演奏実験に成功している	カエルや擬人化されたカエルが描かれるのは有孔罫付土器であることが多い	
各説への反論	まとまった量のなにかを貯蔵したまま出土した例がない 湿気を防ぎたいのに「あな」を空けるだろうか?	他の形でもお酒は作れる製造過程を確かめられる事例はない(ヤマブドウの出土も1例のみ) 炉の近くで見つかるものは使用時の状態ではなく、廃棄後の状態である	皮や栓の出土例はない 世界各地の太鼓に罫はなく、「あな」に栓をして皮をとめる土製太鼓の例も非常に少ない 太鼓として使えば「あな」の縁が割れるはずだが、確実な例はない	内部にカエルの骨が残存していた例はない 有孔浅鉢と、ここに展示した土器の系統関係ははっきりしない	
嚙矢となった文献(p.17)		【文献2】	【文献3】	【文献4】	

あなたの考えは？

6. いきものを表現するのはなんで!?

Are they human, animal, or perhaps neither...?

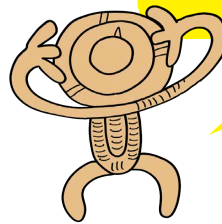
縄文土器の装飾や土製品などに、いきものを表現したのがあります。ヒトなのか、動物なのか、あるいは全く別物か…。何かにそっくりなものばかりではないため、見え方は見る人によってさまざまでしょう。

In decorations of Jomon pottery and clay artifacts, some appear to represent living beings. Are they human, animal, or perhaps neither...? Since they're not always immediately recognizable, what they appear to be might be up to you.

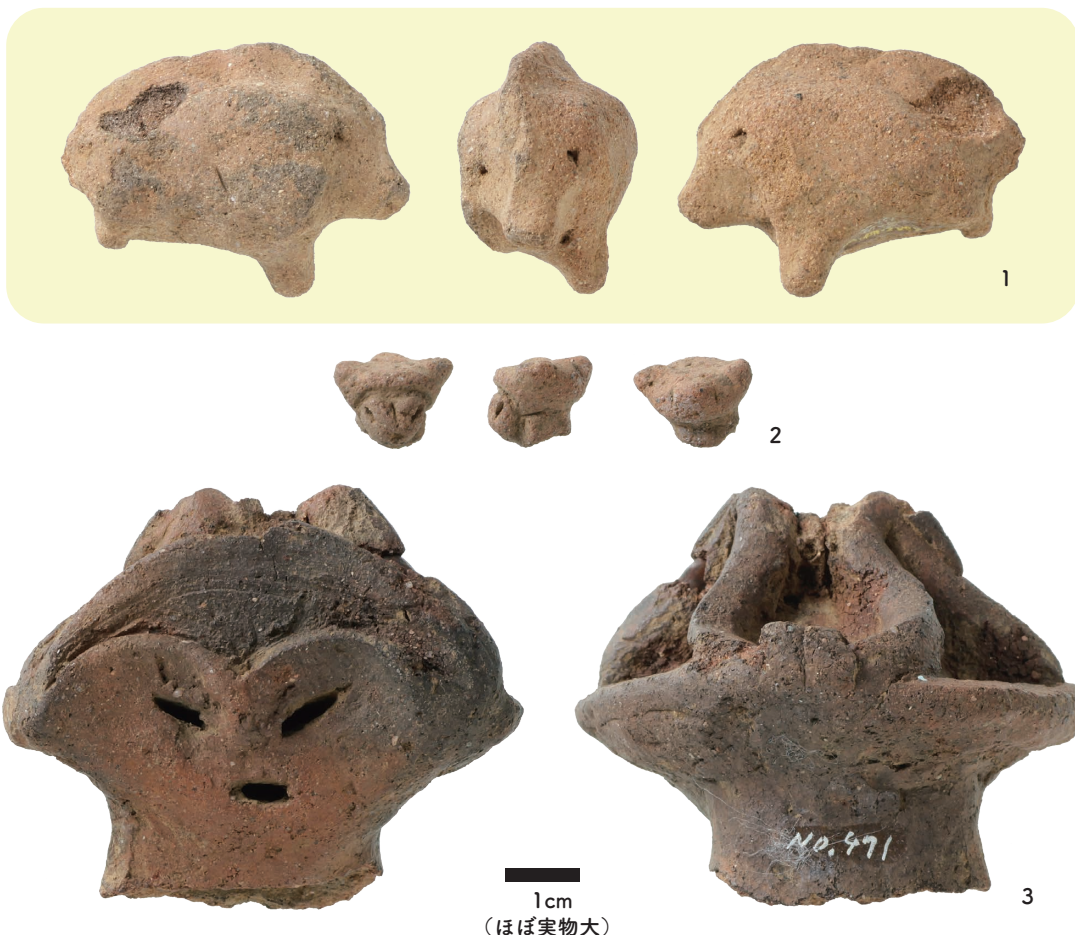
土製品 (土偶・動物形土製品)

以下に掲載した土製品を見てみましょう。1は、ずんぐりした身体に、背中のたてがみ、突き出した鼻……イノシシでしょうか。2と3は土偶の頭部と考えられますが、そのモデルはヒト?サル?そして、これらは「なんで!?'作られたのでしょうか。

これらが「何」を表しているかも大事だけど、「なんで!?'表現したのかも大事なはず。



でも、モノとして残らない「なんで!?'は専門家の一番苦手な分野。みんなの考えを教えてね!



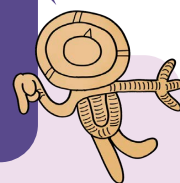
じゅうめん じんめんとって
獣面・人面把手

縄文土器には動物の姿をした把手が付けられることがあります。例えば4は蛇、5はイノシシ、6は鳥と考えられています。みなさんはどう思いますか？

また、7～10のような人面(?)が表現されることもあります。これらの把手は「なんで!?!」土器に付けられたのでしょうか。



「把手」とは、下の写真のような土器の飾りのことだよ。



把手付深鉢の例
 特別収蔵庫に展示しています

あなたの考えは？

じんたいもん
人体文付土器

最後に紹介するのは
ボクが描かれている
この人体文付土器。

縄文人はどんな思いで
バンザイしたボクを
描いたのかな？

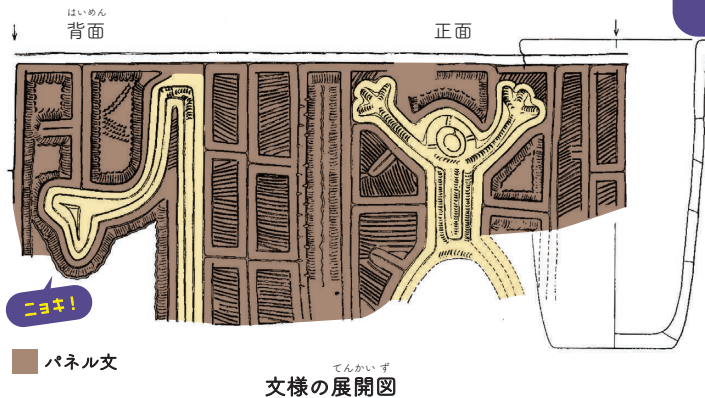
自分でもよく
わからなくて

お仕上げさ！



12

ナンデくんの周りには…？

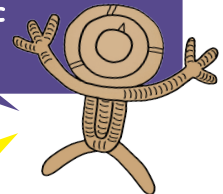


ボクの左右には、「パネル文」と呼ばれる
たくさんの区画が描かれているよ。

およそ5,000年前に
よく描かれる文様なんですけど、
いったいなにを表しているんだろう？

そしてボクの反対側には、
ニョキとした
なにかが…。

これってなに？
なんで！？



あなたの考えは？

エピローグ

Epilogue

「**なんで!?**」をめぐる旅、いかがだったでしょうか？ 考古学の専門家も、日々それぞれの「**なんで!?**」に向き合って研究を続けています。資料を集め、細かな検証を行い、と「**なんで!?**」の探求には苦勞も多いですが、謎を解き明かす行為には他では代えがたい楽しみがあります。この展示を通して「**考える楽しさ**」を感じていただけたのなら幸いです。

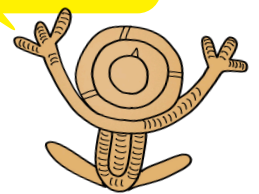
How were our 6 “whys”? Did any ideas come to mind?

Even experts in archaeology face their own ‘whys’ every day, continuing their research. Gathering data, conducting detailed verifications, and pursuing these “whys” can be challenging, but there is an incomparable joy in unraveling mysteries. If you have been able to glimpse the joy of such contemplation through this exhibition, that is our greatest pleasure.

考えをシェアしよう！

考えをシェアすることは、より一層「考える楽しさ」を深めてくれます。本展示では、みなさまから「なんで!？」に対する考えを募集し、展示室やSNSで紹介してきました。ここでもその一部をご紹介します。

新しい考えが
浮かびそう！



1. こんなに大きさが違うのはなんで!?

使う対象のサイズがちがうため／おおきいひとがつくった／昔は巨人や小人がいた

2. 土器の大小はなんで!?

おままと道具／大きな土器を作る前の試作／小さい神様にささげるために小さい土器を作った／子供の勉強用に小さい土器を作った／神様へのお供えなど数をそろえる必要のために小さい土器を作った

3. 自力で立たないのはなんで!?

土器の半分を埋めて外気からの影響を抑えていた／飾るためだけに作られた／頼りない方が愛着がわく

4. なんてか、似てるけど。

とってがあるのは、すべりにくくするため／今の物が昔ににってるだけ

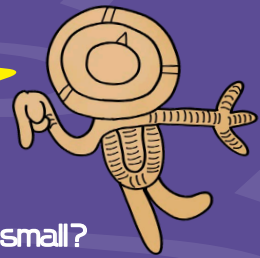
5. この「あな、なんで!?

蒸気を逃がすためのあな／ヒモでつるすためのあな／おしゃれのためのあな

6. いきものを表現するのはなんで!?

生贄がわり／こどものおもちゃ／たべものがおいしくたべられるようにおまじないとして／子どもがかんさつにつかった／たくさんの獲物を狩ることができるようにという願かけ／魔除け／文字代わり

この展示に利用した考古資料は、
すべて東京都教育委員会が所蔵
しています！



1. こんなに大きさが違うのはなんで!? Why are they so big or small?

No.	資料名	遺跡名	時代
1~3	石鏃	No.72遺跡	縄文
4	磨製石斧	No.237・962遺跡	縄文
5~7	磨製石斧	No.9遺跡	縄文
8	磨製石斧	No.194遺跡	縄文
9・10	磨製石斧	No.72遺跡	縄文
11	磨製石斧	No.194遺跡	縄文
12~16	打製石斧	No.72遺跡	縄文
17	打製石斧	No.597遺跡	縄文
18~20	石匙	No.72遺跡	縄文

Objects	Site No.	Period
stone arrowhead	No.72 Site	Jōmon period
ground stone axe	No.237・962 Site	Jōmon period
ground stone axe	No.9 Site	Jōmon period
ground stone axe	No.194 Site	Jōmon period
ground stone axe	No.72 Site	Jōmon period
ground stone axe	No.194 Site	Jōmon period
chipped stone axe	No.72 Site	Jōmon period
chipped stone axe	No.597 Site	Jōmon period
tanged stone scraper	No.72 Site	Jōmon period

2. 土器の大小はなんで!? Big and small: pottery this time.

No.	資料名	遺跡名	時代
1・2	小形土器	No.300遺跡	縄文中期
3	ミニチュア土器	No.245遺跡	縄文後期
4~6	ミニチュア土器	No.9遺跡	縄文中期
7	ミニチュア土器	No.194遺跡	縄文後期
8	ミニチュア土器	No.939遺跡	縄文中期
9・10	ミニチュア土器	No.72遺跡	縄文中期
11	ミニチュア土器	No.9遺跡	縄文中期
12	ミニチュア土器	No.72遺跡	縄文中期
13	小形土器	No.300遺跡	縄文中期
14	ミニチュア土器	No.72遺跡	縄文中期
15	壺	No.918遺跡	古墳
16・17	ミニ台付甕	No.918遺跡	古墳
18・19	鉢	No.327・329・330遺跡	古墳
20	大形深鉢	No.300遺跡	縄文中期
21	深鉢	No.72遺跡	縄文中期

Objects	Site No.	Period
miniature pottery	No.300 Site	Middle Jōmon
miniature pottery	No.245 Site	Late Jōmon
miniature pottery	No.9 Site	Middle Jōmon
miniature pottery	No.194 Site	Late Jōmon
clay object	No.939 Site	Middle Jōmon
miniature pottery	No.72 Site	Middle Jōmon
miniature pottery	No.9 Site	Middle Jōmon
miniature pottery	No.72 Site	Middle Jōmon
miniature pottery	No.300 Site	Middle Jōmon
miniature pottery	No.72 Site	Middle Jōmon
miniature jar	No.918 Site	Kofun period
miniature pedestaled pot	No.918 Site	Kofun period
bowl	No.327・329・330 Site	Kofun period
large deep bowl	No.300 Site	Middle Jōmon
miniature pottery	No.72 Site	Middle Jōmon

3. 自力で立たないのはなんで!? Why can't they stand on their own?

No.	資料名	遺跡名	時代
1	深鉢	No.207遺跡	縄文早期
2	深鉢	No.72遺跡	縄文早期
3	深鉢	No.840遺跡	縄文早期
4	深鉢	No.307遺跡	縄文早期
5・6	横瓶	No.446遺跡	古代
7・8	長頸瓶	No.342遺跡	古代

Objects	Site No.	Period
deep bowl	No.207 Site	Initial Jōmon
deep bowl	No.72 Site	Initial Jōmon
deep bowl	No.840 Site	Initial Jōmon
deep bowl	No.307 Site	Initial Jōmon
jug	No.446 Site	Late Kofun to Nara period
jar with a long neck	No.342 Site	Late Kofun to Nara period

4. なんだか、似てるけど。 Two of a kind

No.	資料名	遺跡名	時代
1	把手付土器	No.107遺跡	縄文中期
2	把手付土器	No.72遺跡	縄文中期
3	ビールジョッキ (食品サンプル)		現代
4	注口土器	No.245遺跡	縄文後期
5	注口土器	No.194遺跡	縄文後期
6	注口土器	No.355遺跡	縄文後期
7	土瓶		現代

Objects	Site No.	Period
deep bowl with handle	No.107 Site	Middle Jōmon
deep bowl with handle	No.72 Site	Middle Jōmon
Beer mug		Modern
spouted vessel	No.245 Site	Late Jōmon
spouted vessel	No.194 Site	Late Jōmon
spouted vessel	No.355 Site	Late Jōmon
Teapot		Modern

5. この「あな」なんで!? What are these holes for?

No.	資料名	遺跡名	時代	Objects	Site No.	Period
1	有孔鏝付土器	No.861遺跡	縄文中期	pottery with perforated rim	No.861 Site	Middle Jōmon
2	有孔鏝付土器	No.245遺跡	縄文中期	pottery with perforated rim	No.245 Site	Middle Jōmon
3・4	有孔鏝付土器	No.471遺跡	縄文中期	pottery with perforated rim	No.471 Site	Middle Jōmon
5	有孔土器	No.737遺跡	縄文前期	pottery with perforated rim	No.737 Site	Early Jōmon
6	有孔鏝付土器	No.939遺跡	縄文中期	pottery with perforated rim	No.939 Site	Middle Jōmon

6. いきものを表現するのはなんで!? Are they human, animal, or perhaps neither...?

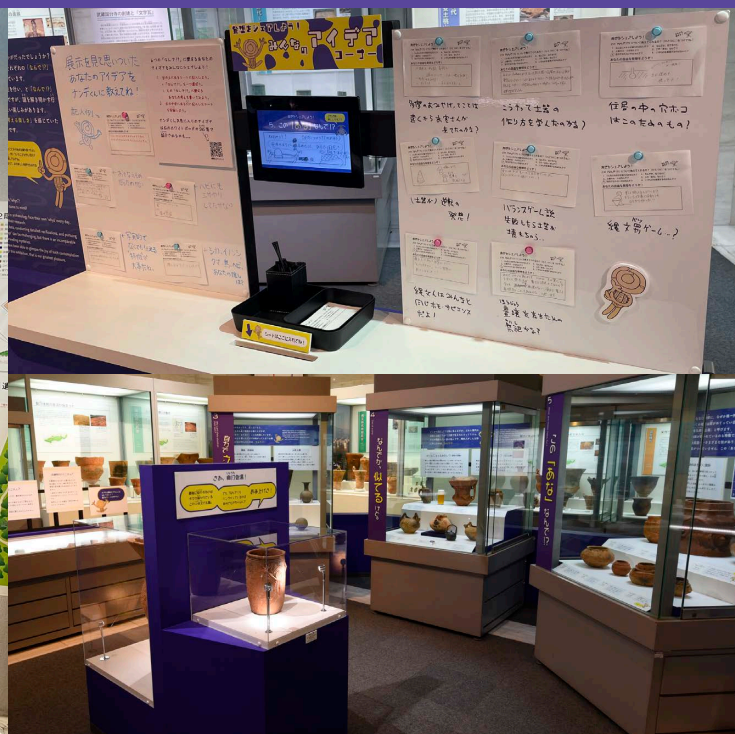
No.	資料名	遺跡名	時代	Objects	Site No.	Period
1	土偶	No.471遺跡	縄文中期	clay figurine	No.471 Site	Middle Jōmon
2	土偶	No.72遺跡	縄文中期	clay figurine	No.72 Site	Middle Jōmon
3	土偶	No.471遺跡	縄文中期	clay figurine	No.471 Site	Middle Jōmon
4	土製品	No.72遺跡	縄文中期	clay object	No.72 Site	Middle Jōmon
5	土製品	No.9遺跡	縄文中期	clay object	No.9 Site	Middle Jōmon
6	獣面把手	No.9遺跡	縄文中期	clay object	No.9 Site	Middle Jōmon
7	把手	No.107遺跡	縄文中期	handle (decoration of pottery)	No.107 Site	Middle Jōmon
8	顔面把手	No.471遺跡	縄文中期	human head handle (decoration of pottery)	No.471 Site	Middle Jōmon
9	把手	No.72遺跡	縄文中期	handle (decoration of pottery)	No.72 Site	Middle Jōmon
10	土製品	No.9遺跡	縄文中期	clay object	No.9 Site	Middle Jōmon
11	深鉢	No.67遺跡	縄文中期	deep bowl	No.67 Site	Middle Jōmon
12	深鉢(人体文)	No.46遺跡	縄文中期	deep bowl	No.46 Site	Middle Jōmon

参考文献

- No.9 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 69 集
- No.46 遺跡.....多摩ニュータウン遺跡調査報告VII(多摩ニュータウン遺跡調査会編)
- No.67 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 18 集
- No.72 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 27 集、第 50 集
- No.107 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 64 集
- No.194 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 25 集
- No.207 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 4 集 第 1 分冊
- No.235 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 151 集
- No.237・962 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 39 集
- No.245 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 57 集 第 1 分冊
- No.300 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 16 集
- No.307 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 15 集 第 4 分冊
- No.327・329・330 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 59 集
- No.342 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 15 集 第 5 分冊
- No.355 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 8 集 第 3 分冊
- No.446 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 68 集
- No.471 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 15 集 第 3 分冊
- No.520 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 137 集
- No.597 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 7 集
- No.840 遺跡.....資料目録 2
- No.861 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 4 集 第 5 分冊
- No.918 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 61 集
- No.939 遺跡.....東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 104 集
- ※ No.46 遺跡以外はいずれも東京都埋蔵文化財センター編

引用文献

- 【文献 1】明治大学学術フロンティア推進事業事務局編 2009「蛍光 X 線分析装置による黒曜石製遺物の原産地推定—基礎データ集〈1〉—」
東京, 明治大学古文化財研究所
- 【文献 2】藤森栄一・武藤雄六 1963「中期縄文土器の貯蔵形態について—鏝付有孔土器の意義—」『考古学手帖』第 20 号
- 【文献 3】山内清男 1964「縄文式土器総論」『日本原始美術』第 1 巻
- 【文献 4】高橋雄三 1994「有孔(鏝付)土器の用途—メキシコの土製太鼓とヒョウタン太鼓—」『福島考古』第 35 号



展示風景

東京都埋蔵文化財調査センター令和6年度企画展示『多摩の“なんで!?’な出土品』鑑賞の手引き
令和6年10月7日発行

編集・発行 公益財団法人東京都教育支援機構 東京都埋蔵文化財センター
〒206-0033 東京都多摩市落合1-14-2 電話 042-373-5296

印刷 株式会社 高尾印刷